



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

わたしは、この広島の話聞いて今わたしたちが生きている  
この時代に感謝をしなければならぬと改めて感じました。  
この夏、わたしは原爆の被害を受けながらもたくましく生きる少女の  
姿を描いた本を読みました。この一文一文からいろいろな情景  
や感情が伝わってきました。しかし、今日のお話を聞いて  
わかったのが、本よりも10倍いや100倍も苦しく悲惨だったとい  
うことです。空からふってきたおそろしい「悪魔」。それは  
いっしょんで広島を食いつくしてしまいます。そんな風景  
を見てしまったら、わたしは言葉をうしない、その場に泣き  
くずれるでしょう。でもそれをがまんし、ずっと人を助けよう  
としていたことはとてもすばらしいと思います。  
忘れてはいけぬこの原爆。わたしたちは、この話どう  
受けとめるかで変わっていくと思います。また長い人生。  
わたしは、1日1日を大切に、そして今生きていると  
いうことのありがたさを忘れずに生きたいと思いま  
す。わたしは、この日で心を改めたいです。生きてく  
ても生きれなかった人たちのために、わたしたちが  
これからできることを見つけたいです。  
原爆先生、本当に貴重な経験をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

改めて、「戦争」という名のおそろしさ、「平和」という名の大切さがどんなものか感じる事ができました。

わたしは、短い期間でしたが、広島に住んでいました。そのおかげで、平和記念資料館に行ったことがあります。そこにあった写真やものは、幼いわたしにはとても恐ろしく、まともに見る事ができませんでした。今も見られないと思います。しかし、体験した方は「きれいすぎる、そうおっしゃったそうです。この言葉から、自分が想像しているものより、ずっと恐ろしいものだったのではないかと思いました。先生がおっしゃったことを想像するだけで寒気がし、あまりの恐ろしさに涙が出るほどです。もしも、今、原爆が投下されてしまったらどうだろう。そう考えるだけでつらくなります。泣き、笑いあったともたち。今日、この日まで支え続けてくれた“家族”。みんながいなくなってしまうたら、涙がかかれはてるまで泣き続けます。今日、涙をこらえ、お父様の実体験をお話して下さった先生のことばを心にとめ、おたやかで、ともたちと笑いあえる平和な毎日をおくれることに感謝し、次の世代に、わたしたちが、「しっかりと戦争のひきだし」とくに原爆のことについての事実を伝えます。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆のお話をしてくださり、あらためても苦しく悲しい出来事だと感じました。ですが、わたしたちには想像できないくらい悲惨な思いをしてきたのだなあと思い、そのときの写真を見ているときには、何回も心が苦しくなりました。熱線や衝撃波、放射線によって死亡者がふえ、ほねだけになってしまっている人があちこちにいて、それを体験した人はどれだけ「助けてー。」とさげんだことか……「どれだ」け苦しんだことか……などと思うと、今のわたしたちはとても平和すぎているなと思いました。この平和すぎているということも今の時代の人々にはもっと感じていなければならぬのではないのでしょうか。

原爆先生のお父さんが体験したことを話している画像を見ているときには、そのときのその場のようすが頭にうかび、おもわず泣いてしまいました。「苦しい」などと一言であらわせばいいくらいだったということがとてもわかりました。今回おそわったことはすべて頭にずっーといれていかななくてはならないということと、次の世代に伝えていかななくてはならないと思いました。原爆先生の特別授業をうけて、この先知るべきにないだろうことを学び、今のわたしたちに必要な体験でした。

ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生<sup>じゅこう</sup>の特別授業を受講して

表

今日の授業を受けて様々なことが学びました。原爆が落とされる候補に京都が選ばれていたこと。京都は、昔ながらの歴史的建物がたくさんあるが、最終的に原爆は落とされなかったということは初めて聞きました。広島に投下された原爆「リトルボーイ」は、パラシュートをつけておとされたというのばうそ』で本当はラジオソングをつけておとされたことも初めて知りました。このように、様々なことを学ぶことができました。原爆先生のおかげです。

一番、すごいと感じたのは、原爆先生の話し方です。聞いていて、実際にそこにいるような感じがしました。被爆者の近くにいるような感じがしてゾクッとしてきました。

原爆先生の特別授業を受ける前は、たいてい原爆の恐ろしさなど深く考えたことがありませんでした。しかし、原爆先生の授業を受けて、原爆はとても恐ろしいことだと思いました。そのときの広島市の人口は35万人でそのうち、14万人が死亡したことを聞いたとき大変なことだし、なにもしないのに死んでしまった人がいるのはかわいそうだと思いました。戦争をして、原爆を落とすのは許されないことだと思うし、もう二度落としてはいけないと改めて思いました。ほくも、原爆先生のように次世代の人々に伝えていきたいと思いました。今は、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話 じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

わたしは、原爆先生のお話を聞く前は、原爆の太  
変さをよくわかりませんでした。でも、先生のお話を  
聞いて、原爆のおそろしさ、まわりのものをいっしょん  
にしてけしてしまうすごさを知りました。

特に、5トンのばくだんをつんだ爆けき機が  
きたと聞いたときは、ぞとしました。空から、重いば  
くだんがふてくると考えるとすごくおそろしことだと思  
いました。

太陽のひょう面よりも熱い、熱線をあびたら、  
体のひかがただれて中の肉が見えてしまうと考えた  
だけで、本当におそろしいことだと思えます。

広島市の<sup>人口</sup>35万人に対して、被爆者数が24万人、死  
者数14万人、被爆者数が人口の半分以上だとい  
うことにおどろきました。死亡率も40パーセントで  
5人に2人はせくなるときき、国がおこした争いで  
関係のない人々がせくなるなんてありえないと思  
いました。

今回聞いたことは、せつたいにわめれてはいけないこ  
となので、これから先、いろいろな人に伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅごう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の授業を通して、また一つ戦争、そして原爆の事が分かりました。この授業で、一番心に残った話は、やけどなどの大けがをした人々のひもが溶けて、もう死んでいるのか生きているのか分からなく歩いたり、道路でたおれているという話です。この話を聞いた時、想像をしてしまいとてもすごい事になっていることが分かりました。

また、わたしのひいおは「あちゃん」は97才なので、戦争を経験しているかもしれません。そこで、今度会ったら戦争についてくわしく聞きたいと思います。

そして、今日は、スクリーンに映して、説明してくれたり、資料を使って説明してくれたので、良く分かりました。これからこの原爆の事をゆすれないで、いきたいし、また、分からないところなどがあたら、本などで調べて理解していきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/28(火)

今日、ぼくは原爆のこゝろを改めて深く知り  
 ました。前までは原爆はただ「空中で爆発す  
 るだけだ」と思っていましたが、爆発する時に  
 まさか爆発した時にスカイリリーの高さあた  
 りから7000℃の火爆発が起こってしかも土上で  
 は3000℃なるとも信じられないう事だと思  
 いました。信じられないことだけれど、こうやって深く解  
 明されているのも生き残った人の言正言があたか  
 らだと思えます。今日の特別授業を受けた  
 らうきも言いましたが原爆のことがとても分かりま  
 した。それと同時に戦争は絶対止ちやいけない  
 ということも分かりました。たった一つのきっかけ  
 で「国と国、宙の中で争いが起こって人がたく  
 さん死んで勝っても意味は無いと思えます。  
 世界中で今争いは起こっています。世界中の  
 争いが無くなって平和な世の中になしてほしいと  
 思います。原爆も体験した人からその子、孫、  
 い孫へと次の世代へ伝えていき戦争のおそろは  
 からもう戦争はくり返したくないと伝えていきたいと思いた



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

今まで、広島と長崎の両県を旅行し、2か所の原爆資料館に行き、原爆の恐しさを分かっていました。しかし、「あれはきれいすぎる」という言葉にショックを受けました。あの人が死をこえる無惨さは自分には想像できませんでした。

授業の中で投下の候補地の条件に今まで空襲がなかったというものは人としてひどいと思いました。多くの罪もない尊い命を実験台というふうからです。また、池田さんのお父さんの手記は当時の様子が伝わりました。しかし、黒こげの人達の汚い姿は自分では考え切れませんでした。人が一瞬で消えるなんて、想像もできず、ただものすごく恐ろしく、簡単に命がうばわれることが分かりました。こんなに恐ろしく、非情な原爆は二度と使わないで、全世界がよく知って、心に刻んでほしいと強く思いました。3000℃の熱線、すべてをがれきにお衝撃波、多くの副作用をもたらした放射線、すべてが知らない世界で今回のお話は自分の知の世界を広げ、今の世界のありがたみを感じました。

68年前に日本で起こった原爆投下時の状況を少しだけかも知れませんが、分かりました。この平凡とも言える世の中が、とてもありがたく、大事なものと学びました。犠牲になった方々を弔い、今後も平和を守り続けるために広島に原爆が落ちたことは忘れません。





名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

先生の授業の中では、よく「ひらめかたたかれて」など原爆投下直後の人々の様子を表現していました。わたしは、先生の話を通して頭の中で画像に表現していました。だから、傷などに関連することを想像していると、つい自分の体のことカッ心配になり体をさわるが多かったです。まるで自分が被爆したかのように思ってしまうほどでした。また、展示されていた人間の模型が「きれいすぎる」と先生は語っていました。人間の細工でも表現できないほど残酷な風景だったことが分かりました。もちろん、その風景は見た方にしか本当に想像できません。しかし、わたしたちがイメージしている風景の次元を超えるようなものであったことは分かります。話を聞いていると、周囲の風景が一変したような気がした時がありました。それは、わたしが先生の話聞いたときに想像した光景だったのです。自分が戦場にいるように思うと、当時の人々の気持ちなどが時代を超えてわたしの耳にささやくようでした。

このような経験をもとに 後世に伝えていくと、たくさんの人々が平和を求め、世界が変わると思った90分でした。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、6年生のときに原爆ドームと資料館を見に、  
広島へ行きました。原爆ドームを見たとき「本当にこんな  
ことがあったのだろうか」と思いました。資料館へ行っ  
ても同じ気持ちでした。気持ち悪くなり遺品も見ることが  
できませんでした。しかし印象に残っている物が一つ  
だけあります。それは、被爆した女の人の人形です。忘れよう  
としても忘れられないくらい悲惨な物でした。しかし、特別  
授業を受講して「あの人形はキレイだ」と言っていたのはとても  
おどろきでした。あの人形がキレイなら本物はどのくらい  
悲惨な物なのかと想像するだけで「背筋がゾーッとします。  
原爆で人間が人間ではなくなるといふのはとてもおそろしい  
ことだ」と思います。しかも、そのような人が道に何十人、何百人  
いたら気が遠くなりそうです。しかし、一番おそろしい  
と感じたのは、白い光の中で「いっしょに人が消えて  
しまう」ということです。原爆で多くの人々が死んだことは  
知っていたけれども、人が消えるというのは初めて  
知りました。まるで人類が生み出した白いブラックホール  
だと思えました。もう戦争を絶対にしてはいけな  
いとも思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のことについて、貴重なお話をしてくださってありがとうございます。

原爆が落とされたとき太陽が上空にきたのと同じと聞いてびっくりしました。60kgのウランが爆発しただけでものすごいひかりになったのに、60kgも爆発したらどうなってしまうんだろうと、ぞとしました。

たくさんのひかりをおよぼしたアメリカ軍でも文化のある京都をはかりしなからたのはびっくりです。

原爆資料館の人形はとてもおそろしかつたのに体験された方は、「きれいすぎる」と言たので

どれほどおそろしかつたことでしょう。平和に暮らしているほんとはおそろしきません。

今回のことは、大人になっても覚えておきたいと思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆を落とそうとしていたところが、広島、長崎以外にあったということ  
はじめて知りました。落とそうとして  
いたところの条件もです。  
私が一番印象に残っているところ  
は、足をけがしている女の人を助けた  
ところと、資料館の人形を見て、「きれい  
すぎる。」とセ田さんがつぶやかれたことです。  
まず、女の人を助けたことは、自分たちもつ  
かれていてすぐにはごももどりたいたいのにな、  
いねいに処置をし、おぶって運んだというこ  
ろがすばらしいと思いました。「生きている人のあたた  
かさ」を感じたというところで、せくな、た方々を運ぶのが  
よほど苦痛だったのだとわかります。そして、「きれいすぎ  
る。」というところからは、とてもむせんだったこと  
がわかりました。このようなことをまた知ら  
ない次の世代、その次の世代にこのことを  
伝え、平和な世界を築いていくことが  
できたらいいなと思います。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、「はだしのゲン」という原爆の話を読んだことがあります。しかし、その本を読んだだけでは原爆の悲惨さや恐ろしさか、なんとなくでは、感じるできませんでした。しかし、今日の特別授業で、戦争は、いかによてはいけないことだと心の底から感じました。原爆が落ちた午前8時ごろ、一瞬で多くの命が失われました。奇跡的に生き残った人もその後、様々な病気で苦しめられます。何の罪もない人たちがなぜ犠牲にならなければならぬのでしょうか。私は、何回考えても、どうしても、納得できません。戦争をするのでは、話し合いを何回、何十回でもした方が、たくさん人の命がなくなることもなく、解決できるのに...と思います。私は、実際に戦争を体験したことはありません。しかし、今日の授業を聞いていて、アメリカへの怒りが収まりませんでした。でも、私の怒り以上に被爆者の方が怒りが大きかたと思います。そんな怒り、悲しみ、苦しみがもう二度とおきないように、戦争の悲惨さや恐ろしさを次の世代へ伝えていきたいと思っています。また、世界のどこかで戦争をしている国はないとは言えません。今、戦争している人たちには、「戦争をしても良いことは何も無いぞ。」と教えたいです。今の日本はとても平和で、私たちは、とても幸せです。今日の話 を聞き、今、生きていられることの大切さを改めて感じました。私はこれから、<sup>これからの日本で</sup>戦争は、今までより、自分の命を大切にします。絶対あってはいけません！



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今まで、社会や国語の学習などを通して原爆のおそろしさを  
知っているつもりでした。でも今日学んだことは私の想像より、とてもひさ  
で悲しいことでした。90分間、たくさんのお話をして下さいましたが、その中の  
後半にあったお話の中の、原爆のことが展示されている所にあった人形  
の姿が、一番心に残っています。その人形の写真が写った時、私はその  
おそろしさに思わすゾクッ、としてしまいました。でも一番おどろいたのはその  
後の、「私はずきれすぎる」という言葉です。今、平和な時代にいる私には  
あの人形以上のひさんな姿が想像つきませんでした。それからもう一つ、  
広島に落とされた原子爆弾の原料であるウラン1kg(ゴルフボールくらい)で  
街はあんなにひさんな状態になったと聞いた時、耳を疑いました。あんなにも  
大きな被害を与えたのに、その原因の大きさがこんなに小さかった事が信じ  
られませんでした。体内の水分が一瞬にして失われることがあったという話や、  
空気が一時真空状態になること、放射線が後遺症が続き、今も苦しん  
でいる人がいることなど今日学んだことは一生忘れることがないような、衝  
撃的な話ばかりでした。お話が終わって教室に帰る時に見た、いつも見ている  
窓の外の平和な風景を見て、ほっとした位です。でも今日お話しして下さいたこ  
とは全て実際にあったことだということを忘れずに、未来へも必ずつないで  
いかなければならないと思いました。この、きょうなお話を聞くことができて味  
方に良かったです。今日は、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

この特別授業を聞いて、戦争も二度と起こさないと思う事ができました。原子火暴弾のすさまじい威力におどろきました。広島や長崎にリトルボーイを落とすと考えた理由に腹が立ちました。ぼくの祖母は、実際に原火暴で被火暴しています。たまに原爆の話をしてくれます。被火暴者はとてもつらい思いをしたんだなと思いました。今回、話を聞いて、原火暴の悲惨さが伝わって来て、その時の様子が頭にうかんできます。そのヒロシマの町を生き延びて努力してくれた人がいたからこそ、今の素晴らしい町があるのだと思います。これからも、戦争も起こさぬように、次世代、また次世代に伝えて行きたいです。今回はとても勉強になりました。ありがとうございました。これからは、ぼくが、原火暴や戦争のおそろしさを伝えて行きたいと思います。



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の授業で、原爆のひんさんがよくわかりました。国語の授業では、「ヒロシマのつた」という単元で原爆について少しは知っていましたが、実際に体験した方の話を聞けて具体的に原爆のことを知りました。とてもおどろいたのは、原子爆弾投下都市に条件があるということです。大きな都市に投下したことは、資料からわかりますが平野で家が密集している場所が条件ということを知りませんでした。それについて、京都も原爆投下の候補になっていた都市ですが、文化財があるから候補から除外されましたが、そのようなことを考えているのなら広島や長崎は、どのようにアメリカの人は考えているのか知りたいと思いました。しかし、第2候補の小倉には原爆が落とされなくて良かったと思います。私のお母さんの故郷の県だし、少しでも被爆者が少くなればいいと思ったからです。いっか、原爆記念館に行けることがあたらしくなってもいいと思います。次の世代に伝えて、また自分でも深く考えたいです。





名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/28

僕は原爆のおろしやひさんさについては聞いたことがあり  
 ました。しかし今日原爆先生のお話を聞き、僕がいままで  
 思っていた原爆のいよくと今日知った原爆のいよくとはま  
 たくかけはなれたものでした。僕はいままで原爆は300mくらいはな  
 れたころでかくれていたら助かぬくらいだと思っていました。今日知ったこ  
 とは、100万℃という太陽よりも熱い想像することができないよ  
 うな温度でした。そこから、原爆がどれほどおそろいもので  
 危険なものかが分かりました。また、なぜそのようなものを人間か人間  
 に向けて爆発させることができたのかが不思議で信じられな  
 かったです。

また、この経験を通して感じたことは原爆による人間への影  
 響です。このように先生から言葉で教えられるとよりきょうふが  
 増しました。「人間がそこにいたはずなのにいなくなってしまう」という言葉は  
 特に僕の心に残りました。人間が想像できないような熱いもので  
 いらしゅんにして死んでしまい、後からくる衝撃波によって消えて  
 しまったようにいなくなるということは自分には理解できないくらいす  
 いことなのだと思いました。

これから、この話を聞いただけで終わるのではなく、自分の子供など  
 次の世代、また次の世代へと一生日本に残ることにしたいと思いました。

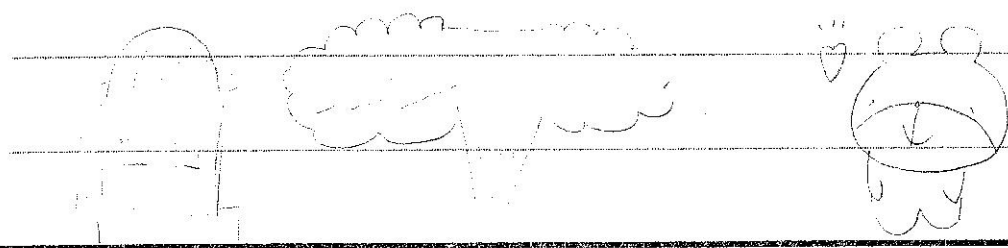


# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

きょうのお話を下さり、ありがとうございます。私は、三原先生が今おられた本城のみなさんと  
 思いました。特に、原爆先生のしみについては、その威力に圧倒されました。太陽の表面温度  
 よりも温度が高くなる、しかも自分と太陽は遠いけれど、自分と原爆先生の距離が近いなん  
 てると思うと、背中がぞくぞくしました。実際経験された原爆先生のお父さんは、本当  
 につらかったろうなと思います。目かけたいのに目かけられないという気持ちからは、たれでも  
 苦しいと思います。私達は、国語で「ヒロシマのうた」という勉強をしました。その  
 物語でも、「うらみ」とは考えましたが、こんなに原爆が悲しいものであるとは  
 考えませんでした。聞いていて、つらすぎて、泣きたかったです。なぜ、日本におとされた  
 のかと、考えがまよいます。空しいけれど、たくさんの愛がふたつくるものだと思えてはいた  
 のですが、この爆弾により、2つの都市のたくさんの住民が命をうばわれるなんて、改  
 めてわいて思いました。私も、原爆先生のお父さんに会って、言葉が詰まらぬかな、会って、  
 とくさんの時間をあなたにたがたがです。原爆先生に教えていた話、決  
 して忘れません。そして、次の世代へつなげていき、このような事が二度とおきない  
 ようにしたいです。最後の映像は、心にひびきました。原爆先生の出片反さん  
 た本を、一度読んでみたいと思いました。もう売られていないのは、ごめんです。  
 私もいつか原爆先生のように、今日教えて下さった話を、話していきたいと思います。





原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回、原爆先生のお話を聞いて、原爆の悲惨な状況とてもよく伝わってきました。

実際に、原爆にそうぐうした方々が、どんなに大変な、たか、どんなに悲しかったか、自分には想像がつかないほど悲惨な出来事だ、たのだと思います。

そして、エノケンの落とした「リトルボーイ」の威力を思い、びっくりしました。まさか、太陽が600キロ以上あるのとは同じ熱さで、いっしょに下を、行くかと思つて、本当に怖い威力なんだと思います。そしてその威力下あの広島県産業技術館が、原爆チームになってしまつたなんて、びっくりしました。

ほくは、この、日本人が忘れてはいけない悲惨な出来事を、次の世代へ、そしてまた次の世代へと語り継いでいきたいと思います、と思いました。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業で学んだことがたくさんありました。  
この授業では、戦争の悲惨さについて分かりました。  
本の紹介をしてくれた時に、本の時々には原爆に合った人の  
悲惨な身体や様子なども言っていて、とても原爆は  
怖いなあと思いました。また、広島と長崎以外にも  
原爆を落とす候補地があることに驚きました。  
他にも本には、8月中に広島にいた九日間での  
様々なことが書いてありました。この本の「私」であるのは、  
講師の肥田徳さんの父だそうです。本には、その人が  
様々なことをしている様子も著しており、とても  
すごい人なんだなあと思いました。また原爆のいかに  
「熱線」「衝撃波」「放射線」の3つもあり、と  
てもすごいと感じました。一瞬のうちに人が  
いなくなったという証言もあり、それほど原爆はす  
ごく、また怖かったのだと思いました。原爆の死者は  
14万人で被爆24万人だそうで、とても悲惨  
だと思いました。このようなことをおこした原因は  
戦争のため、将来はこのような悲劇を二度とおこさか  
うにしっかり戦争はなくしたいです。